



# 八王子市議会議員 八木下てるいち

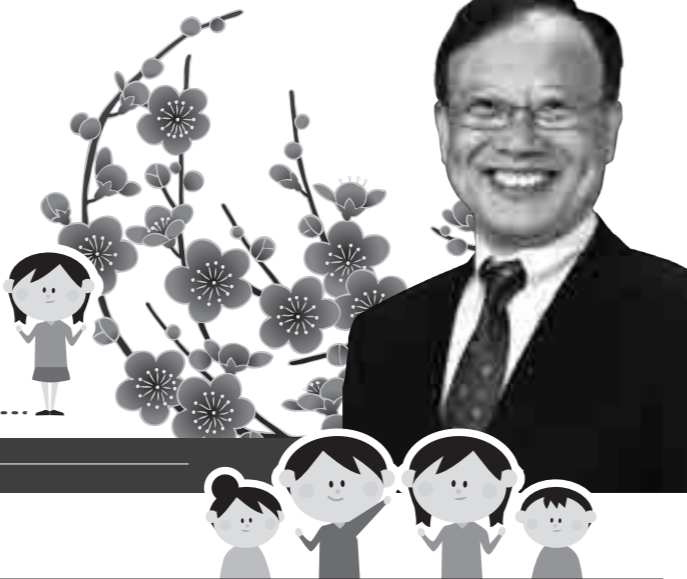
## 平成29年 新年号

### 家庭・地域・ふれ愛新聞

発行所

八木下てるいち後援会

〒192-0914 八王子市片倉町810-7メゾンリバーサイド113号室  
TEL 042-683-0243 FAX 042-683-0343  
E-mail : hachioji@yagiteru.info



私が目指すもの

## 豊かな行政経験を市政に!

家庭が好き! 地域が好き! 八王子が大好き!

八王子を愛する心と行政経験を活かし、家庭と地域社会の繋がりを深め、人と人とがより絆を深めるまちづくりに努めます。

## トピックス オリンピックメダリスト山本博さんと

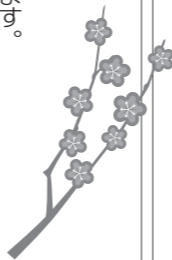
1984年ロサンゼルスオリンピック銅メダル、2004年アテネオリンピック銀メダルを獲得。ここまで書けば、ご存知の方が多いと思います。「中年の星」「山本先生」の通称で親しまれているアーチェリーの山本博さんであります。

平成28年11月6日にNPO法人八王子市体育協会創立70周年記念式典に(公財)東京都体育協会の会長として、式典に参加されました。式典の後には、「リオから東京へ ～スポーツの力を信じて～」の記念講演がありました。お話の中で、父親からは野球を強く進められていたようですが、横浜市の中学校に入学した時に運命的にアーチェリーと出会い、以来40数年現役のアスリートとして競技を続けている。スポーツはマッチングが重要であると語っています。本人にとって、どんなスポーツが良いのか、同じ競技の中でも、攻撃が主なのか防衛が適しているのか。マッチングがよければ長く楽しくスポーツを続けられる、そんな意味でアーチェリー競技は私とベストマッチングです。

講演の最後に次の東京オリンピック・パラリンピックにも挑戦し、選手として参加できるよう最大限の努力をしていきますと力強いお話をいただきました。がんばれ山本先生!



## ひめくわし



新年明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。市議会議員として2回目の正月になりました。皆様方には、日ごろから大変お世話になりました。感謝申し上げます。

昨年の活動を振り返り、1月は、片倉町会など地元シニアクラブやスポーツダンス連盟、保護司会等の新年の行事に参加。2月は、エスフォルタアリーナ八王子で総極真空手道大会で役員として全国から集まった選手に激励を送りました。災害時に八王子市の要請で避難所等に畳を送る協定の橋渡しを行いました。3月は、野球連盟の審判講習会で可倒式ボール完成報告ができました。4月は、緑町や片倉町の町会の定例総会に参加。八王子市東南部環境市民会議の集いに参加。5月は、第2回ふれ愛グラウンドゴルフ大会を東京工科大学の施設を借りて実施しました。6月は、地域防災力や八王子の魅力のパワーアップするための地域コミュニケーションFM放送を具体的に進めることを決定。八王子市体育協会柔道連盟主催少年柔道優勝大会に参加した選手にエールを送りました。7月は、後援会長を務める新八王子ウインドオーケストラ定期演奏会に参加しました。8月は、八王子まつりでギネス世界記録更新した盆踊りに次女が参加して、歩道から声援をおくりました。また福島県いわき市へ今年も復興支援で訪問しました。9月は、西片倉のつどいの森公園で行われた由井地区防災フェスタに参加して自助共助・公助の重要性を実感しました。住まいの鎮守の小さな小さな神社を地域住民で守る活動を行いました。10月は、市民文化祭やアーチェリー大会をはじめ、市民体育大会が市内各所で行われ挨拶をしました。11月は、NPO法人八王子市体育協会創立70周年事業で山本博先生とお会いでき、スポーツを通じて街づくりを進めたいと意見交換ができました。定期で実施している高次脳機能障害支援プログラムに参加してきました。12月は、南八王子サッカークラブの納会に参加しました。以上議会活動を除く地元及び関係団体との活動の一部を紹介させていただきます。平成29年も丁寧・スピーディを信条として、昨年以上の活動を目指してまいります。ご支援・指導よろしくお願い申し上げます。

八木下 てるいち

## 後援会からのごあいさつ

### 八木下てるいち後援会 会長 川幡 傳



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。平素は八木下後援会活動にご支援ご協力を頂き厚くお礼を申し上げます。中核都市八王子市は本年市制施行100周年を迎え、9月にはその記念事業の一大イベントとして富士森公園を主会場、サテライト会場6箇所を以って全国都市緑化はちおうじフェアが開催されます。このフェアは日本全国の都市を巡り毎年実施されています。第32回は名古屋、33回は横浜市、そして今年34回目が八王子市となります。西片倉の「片倉つどいの森公園」は、サテライト会場のひとつとして、この記念事業に参画する公園となり、多くの来場者が見込まれています。

八木下議員には、当選以来3年目にして100周年を迎え、記念事業の一端が地元片倉つどいの森公園で、市の祝賀行事としての機会を得たことは議員活動「仕事で返す」の最高の好機を得たことと思います。大いに「実」を上げて欲しいと願っています。このフェア実施に当たっては八王子市を中心に地元(由井西部地区住民協議会やみなみ野つどいの森の会)等々の意向や要望を広く取り入れて実施計画が立てられ進行されることと思います。

片倉つどいの森公園が開園する迄の経緯を振り返りますと、その時、その課題への必要不可欠は地元代表者、議員の政治力におう所が大でありました。即ち、西片倉町会設立に始まり公共残土問題、アダプト管理棟建設、西片倉町会使用会館とするなど、また公園建設への国費投入などの政治力、議員力のご支援を得て、平成18年度着手、平成22年4月に竣工開園祝賀となりました。

八木下後援会活動も昨年11月には、日帰り旅行を実施し、多数の方々の参加を頂き親睦の目的が果たせたと思います。今後とも八木下議員の政治活動を支援してまいりたいと思います。皆様方の変わらぬご指導、ご協力をお願い申し上げます。

### 八木下てるいち後援会 片倉支部 支部長 川幡 俊昭



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。昨年は議員活動2年目を迎え、八木下議員のモットーであります「豊かな行政経験を市政に生かす!!」を実現することが出来ました。それは、災害時に避難場所に畳を設置することを八王子市と畳取り扱い店との間で防災協定を結ぶことが出来ました。これは、近年地震が多発している日本列島において、身近な安心安全のひとつになったのではないのでしょうか。これから何時襲ってくるかわからない災害に備え、事前の働きかけを強めてもらいたいと思います。

また、家庭・地域・ふれ愛のモットーでは、5月に東京工科大学グラウンドにおいて第2回グラウンドゴルフ大会を行いました。選手・実行役員・青年部の総勢200人が集まり、来賓に萩生田光一内閣官房副長官、近藤充都議会議員をはじめ多くの方をお迎えし、盛大に行われました。秋には後援会の親睦活動として、日帰り旅行を実施致しました。大型バス3台にて相模の寒川神社参拝、熱海後楽園ホテルでの昼食、伊東宇佐美でのみかん狩りを行い、事故もなく無事に終了し後援会の絆が深まりました。

3年目の今年は、干支の酉の如く大きく羽ばたき、地域の皆さんの声を吸い上げ頑張りたいと思います。これからも八木下てるいち後援会の皆様方、尚一層のご支援を宜しくお願い申し上げます。

## 第1回 八木下てるいち後援会 日帰り旅行 11月1日(火)

後援会の初めての日帰り旅行を11月1日に行いました。出発する朝方は小雨が降るはっきりしない天候でしたが大きな崩れは無く、JR片倉駅を大型バス3台が午前7時すぎに出発し、市内各コースに分かれて参加者を迎え、集合地点に向けて発車しました。八方除の守護神として関東一円から参拝者が集まる寒川神社でお参りの後、熱海後楽園ホテルでは海の幸が豊かな昼食をいただき、ビンゴゲームで大いに楽しみました。バスは伊豆宇佐美でみかん狩り、三島市の観光名所になったスカイウォークに立ち寄り、東名高速沼津IC近くの物産店で魚の干物や伊豆のお菓子を購入して、帰路につきました。バスの車中で旅のアンケートを実施したところ、「旅の内容が豊かで昼食も含めて大変楽しめました」「次回の旅行も期待しています」等、満足の評価を多数いただきました。企画者一同、更に良い旅を皆さんに提供できますよう努力してまいりますので、次回の企画もぜひご期待ください。



◆三島市 スカイウォークにて

〒192-0914 八王子市片倉町810-7 メゾンリバーサイド113号室  
TEL 042-683-0243 FAX 042-683-0343  
E-mail : hachioji@yagiteru.info

八木下てるいちのホームページ <http://yagiteru.info>

市議会の日程は、  
八王子市ホームページでご確認ください。

<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/>  
トップページ ⇒ 市議会 ⇒ 会議録の閲覧と検索

# 議会報告

## 平成28年 第2回定例会

平成28年5月26日

厚生委員会



**◆質問**  
高齢者あんしん相談センター―高尾の移転が7月1日に東浅川保健福祉センター2階に移転する効果をどうみているのか。

**答弁(高齢者福祉課長)**  
場所のわかりやすさ、駐車場の確保、送迎バスの利用が可能となる等、利便性がかなり高くなりま

**◆質問**  
利便性の向上はわかります。他の施設で公共施設への移転はあるのか。

**答弁(高齢者福祉課長)**  
第6期介護保険計画では、平成29年4月に恩方事務所センターを新設の計画です。これからは、公共施設に入ることを進めて行きます。

**◆質問**  
地方税法等の一部改正に伴い八王子市国民健康保険条例の一部を改正して、国民健康保険税の均等割額を世帯の所得合計額によつて、5割及び2割軽減の対象となる所得の基準を引き上げるものです。5割軽減が26万円から26.5万円、2割軽減は47万から48万円に引き上げるものですが、軽減対象者数に影響額は。

**答弁(保育幼稚園課長)**  
1,800名で2200万円が均等割額になります。

**◆質問**  
2200万円が軽減されますが、八王子市の負担割合はどうか。

**答弁(保健年金課長)**  
3/4が東京都、1/4が八王子市の負担になります。

国民健康保険税の徴収の状況はどうか。  
**答弁(保険収納課長)**  
出納閉鎖前なので正確ではありませんが、前年より徴収率は上回っています。滞納繰越分は前年より3.4ポイント増の26.1%でした。

## 平成28年 第2回定例会

平成28年6月16日

厚生委員会

**◆質問**  
平成28年7月から来年3月までの予定で小学校の教室を利用して、学童保育所待機児童のうち小1から3年生を対象に放課後や夏休みに安全で安心な居場所を提供する経費を計上している。

八王子市における保育施設への入所希望で4歳児と5歳児は48.7%が申し込みをしている現状だが、将来予測はあるのか。

**答弁(保育対策課長)**  
5年前の平成23年度と比較すると67ポイントの増です。将来予測では、女性の就業率が80%を超えている島根県、福井県の保育利用は既に60%を超えています。本市も将来申し込みが60%に近づくと見込んでいます。

**◆質問**  
学童保育所に入所希望する児童は現状全体の45%になっているが、今後学童の入所希望が増えることは、前質問の答弁からも明らかであり、今後の増加をどう見ているか。

**答弁(児童青少年課長)**  
平成25年度から、毎年1から2%ずつ増加しており、今後この傾向は続くと考えています。

**◆質問**  
今回の事業を実施しても14名の児童が利用できないようだが、今後の待機児童解消の考え方は。

**答弁(児童青少年課長)**  
自立度が低く保育の必要性が高い低学年の待機児童、今後開発などにより児童数が増えること予想される地域については施設整備を進めるとともに、放課後子ども教室の充実を図ります。

**◆質問**  
待機児童数を地域的に見ますと、中心市街地東南部、由木地区が目立ちます。特に中心市街地の対策は急ぐ必要があります。そこで民間の空き事業所やマンション、テナント等の活用を積極的に行うべきだが。

**答弁(児童青少年課長)**  
新規の施設整備ですと8000万円以上かかりますが、空きテナント等の改修ですと1000万円台で対応できますし、完成までの工期が短縮できることから、積極的に活用を図ります。

**◆質問**  
八王子市の保育環境や教育環境の充実は八王子の魅力に繋がります。

部長の見解を伺いたい。

**答弁(子ども家庭部長)**  
放課後の子どもたちの安全な居場所対策として、いろいろな施策を織り交ぜながら対応することが重要と考えています。

八王子市で子どもを育ててよかった、あるいは子どもを育てたいという方が増えていただけたよう努力をしてみたい。

**◆質問**  
八王子市内を20地区、451人の民生委員の定数地区担当の民生委員、児童委員が409人、主任児童委員が42人を第11地区の元八王子地区が要望があった主任児童委員を1名増員するものだが、今後中核市としての民生委員の運営はどのように考えているのか。

**答弁(福祉政策課長)**  
中核市になったことで民生委員の定数を独自に決定することができるようになります。地区の要望をお聞きし、定数も含めて、民生委員の負担が減るようにしたいと考えています。

**◆質問**  
地域包括ケアシステムを推進する中で、民生委員の役割がますます高まると思います。あわせてその内容も充実していくものと思います。

部長の見解を伺いたい。

**答弁(福祉部長)**  
八王子市高齢者福祉計画の中で、市民力、地域力をいかして地域包括ケアシステムの構築を目指していきます。民生委員の力はこのシステム

構築にはなくてはなりません。高齢者、障害者、子ども、生活困窮者も含めて地域でどう支えていくかということ、民生委員の情報をもとに作り上げたいと考えています。

## 平成28年 第3回定例会

平成28年9月8日

一般質問



**◆質問**  
高次脳機能障害は、交通事故などの原因によつて脳に損傷をきたすために生じる言語能力や記憶能力、思考能力、空間認知能力などの認知機能や精神機能の障害をさす。高次脳機能障害の原因の60から70%は脳卒中が占めており、その数は東京都の推計で、都全体で52000人、八王子市内では、2100人になっている。

国は平成18年度から障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業として、高次脳機能障害支援普及事業を始めている。全国の支援拠点機関104箇所に専門相談員を配置して、相談や啓発活動を行っている。

東京都も平成18年11月から支援普及事業を開始している。平成19年から東京都の単独事業として区市町村高次脳機能障害者支援促進事業を開始し、平成27年度末までに都内20区13市1町で実施している。平成28年度に1区3市を加え、38の自治体で実施しているが、八王子市はまだ実施していない。市の高次脳機能障害支援と都の事業への参加について今後の取り組みを伺いたい。

**答弁(福祉部長)**  
支援促進については、住宅支援、就労に向けての支援に結びつけるコーディネートが重要と考えています。また、都の事業の今後の取り組みですが、都の委託を受け、医療系支援センターが相談等を実施していることから、市の事業は実施していません。今後は医療系支援センターと情報交換をしながら、良い方法を検討していきます。

**◆質問**  
現在、永生病院が平成25年度から東京都の委

託を受けて相談等を行っているが、相談件数は年々増加する傾向にある。支援充実に向けて、医療機関、保健所、介護保険事業者、地域包括支援センター、民生委員など地域内の連携体制を構築してもらいたい。また当事者にとって家族の支援がもっとも重要と考えるが、家族が抱える課題やストレスも大変大きいものと考ええる。近隣の町田市、日野市、多摩市、稲城市には家族会が活動しているが、残念ながら八王子市にはない。そこで地域連携や家族会への支援について伺いたい。

**答弁(福祉部長)**  
高齢者あんしん相談センターなどで障害理解支援方法について研修を実施していきます。家族会への支援につきまして、家族会の立ち上げに関わった人を紹介するなどコーディネートすることができま

**◆質問**  
高次脳機能障害者への就労支援で、市内で安心して安全に利用できる支援施設の充実が必要と考

えている。障害者は日も早く元の生活に戻るようにつながりたい。多くの方の支援とご理解をお願いしたい。

**答弁(福祉部長)**  
現在市内には、高次脳機能障害者の方が主たる利用者となる通所施設はありません。

通所できる場所は24施設ありますが、家族も含めて地域で安心して暮らすために、医療系支援センターと連携し、支援方法について検討します。

**◆質問**  
平成28年7月からの来年3月までの予定で小学校の教室を利用して、学童保育所待機児童のうち小1から3年生を対象に放課後や夏休みに安全で安心な居場所を提供する経費を計上している。

八王子市における保育施設への入所希望で4歳児と5歳児は48.7%が申し込みをしている現状だが、将来予測はあるのか。

**答弁(保育対策課長)**  
5年前の平成23年度と比較すると67ポイントの増です。将来予測では、女性の就業率が80%を超えている島根県、福井県の保育利用は既に60%を超えています。本市も将来申し込みが60%に近づくと見込んでいます。

**◆質問**  
学童保育所に入所希望する児童は現状全体の45%になっているが、今後学童の入所希望が増えることは、前質問の答弁からも明らかであり、今後の増加をどう見ているか。

**答弁(児童青少年課長)**  
平成25年度から、毎年1から2%ずつ増加しており、今後この傾向は続くと考えています。

**◆質問**  
今回の事業を実施しても14名の児童が利用できないようだが、今後の待機児童解消の考え方は。

**答弁(児童青少年課長)**  
自立度が低く保育の必要性が高い低学年の待機児童、今後開発などにより児童数が増えること予想される地域については施設整備を進めるとともに、放課後子ども教室の充実を図ります。

だと思えますので、地域理解、協力を得られるよう努力していきます。

**◆質問**  
生活困窮者の自立支援の課題と対応策を伺いたい。

**答弁(生活自立支援課長)**  
900件を超える相談を受け、面接相談は1500件になりました。一人ひとりに手厚く支援していきたいと思っています。生活困窮者自立支援ネットワーク会議を立ち上げ、庁内外の関係機関との連携強化が図られました。相談の中に家計の収支バランスが崩れた事案が多かったので、28年度は家計相談事業を開始しています。

**◆質問**  
福祉避難所12箇所に無線機等を配備しましたが、この施設ですべて完了か。また備品等がどうい

かされているのか。

**答弁(障害者福祉課長)**  
宿泊機能があり、障害者支援を実施している障害者入所施設に配備しました。28年8月の台風9号の時に土砂災害非難準備情報が出されたときに活用しました。

**◆質問**  
身体障害者手帳の交付が1616件ありましたが、中核市になって市民の声はどうか。

**答弁(障害者福祉課長)**  
1616件の82%の1324件が2週間以内で交付できており、手帳など、さまざまな福祉サービスが迅速な支給に繋がっている。

**◆質問**  
11月11日を介護の日と制定していますが、市民への周知度はどうか。

**答弁(高齢者いきいき課長)**  
介護の日の参加者に聞くとこのころの、25年度31%が26年度は38%に27年度は54%に伸びています。今後も周知活動を進めます。

**◆質問**  
地域包括ケアシステムの構築に向けての進捗はどうか。

**答弁(高齢者福祉課長)**  
高齢者計画・第6期介護保険事業計画に基づき、計画を進めている状況です。高齢者あんしん相談センターでは、医療、介護等の専門職、民

生委員、町会自治会などが参加する地域ケア会議を127回開催しました。これからも地域内支援体制の基礎づくりを進めていきます。

**◆質問**  
子育て支援で伺います。親子のこどもの広場には年間8万人が利用していますが、市内はこのほかにたくさん

の親子で利用できる広場があると思うが状況はどうか。

**答弁(家庭支援センター館長)**  
こどもの広場のほかに、保育園、児童館、子育てサロン、地域の町会等で合計年間25万人が利用しています。

**◆質問**  
隠れ待機児童の定義について伺いたい。

**答弁(保育対策課長)**  
待機児童の国の定義は、入園できなかった児童数から、認証保育所などの地方単独保育を利用している児童または保護者が特定の保育園しか希望しない場合求職活動を休止している場合などは含まない)を差し引くという基準になります。この差し引いた部分が隠れ待機児童になります。この部分の解釈は各自自治体に任されている実態があります。来年には統一基準が示されると

思います。

**◆質問**  
青少年の健全育成に児童館の役割は重要ですが、今後の児童館行政はどのように進んでいくのか。

**答弁(児童青少年課長)**  
子どもの居場所としての児童館の役割は、大きくなっています。引き続き学校や町会、青少年育成団体との連携だけでなく、民間事業者との連携も図って健全育成・若者支援を進めていきます。

社会福祉協議会は、会員増強活動として市民の方に105000円の寄付をお願いしています。その実績は毎年2万人くらいで推移していると思います。増えない状況と絶対数が少なすぎると思いますか。

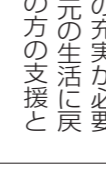
**答弁(福祉政策課長)**  
社会福祉協議会への寄付を増やすことは必要

だと思います。

平成28年 第3回定例会

平成28年9月13日

厚生委員会



**◆質問**  
B型肝炎ワクチンの定期予防接種に至る経過を伺いたい。

**答弁(八王子保健所健康政策課長)**  
国が種類や対象者を決定し、市が実施していくものです。B型肝炎ワクチン接種の定期化は、平成24年5月厚生科学審議会感染症分科会予



### 片倉町交差点セブンイレブン付近の歩道が広くなりました



平成27年10月に南大沢交通安全協会片倉支部長川幡勇さん他から、片倉町交差点セブンイレブン付近の歩道が狭く、相互歩行に支障があると相談がありました。

すぐに、八王子市都市計画部に具体的な要望を伝えた結果、拡幅の可能性があることがわかりました。

その後、平成28年4月に民有地所有者、東京都、相武国道事務所と境界を確認し、9月に電柱の移設も終わり、拡幅工事を実施することができました。

短い距離の拡幅工事でありましたが、関係者がそれぞれで努力をいただきまして、歩行の安全確保を高めることができました。

### 片倉歩道トンネル内壁画が変わります



平成28年7月に前市議会議員の塚本秀雄氏より、片倉歩道トンネル内の壁画を変える時期ではないか、とアドバイスを戴きました。

早速、由井第二小学校、由井第三小学校の両校長先生及び、八王子市教育部や国土交通省相武国道事務所と具体的に検討を行い、今年の6月迄に新しい壁画を設置する運びになりました。

今年、八王子市は市政100周年になり、記念事業の一つとして「子供絵画コンテスト」を実施しております。この作品の中から、由井第二小学校、由井第三小学校の児童が描いた作品を、各々の校長先生が6点ずつ選び、設置される予定です。

どんな作品か楽しみにお待ちしております。

### 「(仮称)八王子FM」の開設に向けて

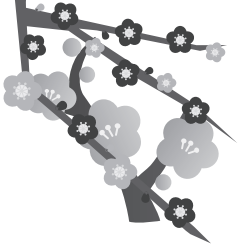


2017年の10月1日放送開始を目指して動き出している地域コミュニティ放送局「(仮称)八王子FM」の活動を報告します。

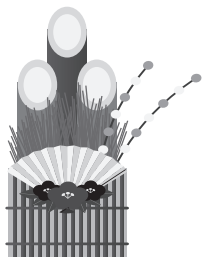
9月21日、株式会社八王子エフエム代表取締役中野健次郎さんと関係者が八王子市にアンテナ等の設置に協力を求めました。八木下てるいちも当社アドバイザーとして今後も協力していきます。

当日は中野社長、技術担当の日立国際電気の工藤隆興さん、同じく日立国際電気の重弘良助さん、営業担当の浜野理樹さんが、八王子市からは情報管理課、広報課、管財課の職員が参加し、市庁舎の屋上から、コミュニティ FM電波を発信できる方策について話し合いを持ちました。八王子FMは出力20ワットで市内はほぼカバーできる見通しです。

◀ 写真左から 専務取締役 中野 恵美、代表取締役 中野 健次郎、日立国際電気の重弘 良助さん、工藤 隆興さんです。



# 八木下てるいち後援会 「新春の集い」のご案内



拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、八木下てるいち後援会では、次のとおり「新春の集い」を開催します。

当日は、「植松しのぶ」さんの歌謡ショーをはじめ、お笑い芸人「バーゲンセール」のおふたり、ステージマジックの「夢丸」さんの楽しい催しを予定しております。

お忙しいとは存じ上げますが、お誘い合わせの上、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具



## 記

**日 時** 平成29年2月19日(日) 昼12時から

**場 所** 八王子エルシィ 八日町6-7 TEL 042-623-2111

**会 費** 5,000円(当日)

**参加申込み** FAXまたはハガキにて、後援会事務所までお申込みください。  
なお、準備の都合上、1月末日までにお願ひ申し上げます。

※当日は全員着席でお席をご用意いたします。

※各支部・各団体毎に席を設けます。

## ご記入の上、このままFAXしてください。

# FAX 042-683-0343 八木下てるいち後援会事務所 行き

2/19(日)の「新春の集い」に申し込みます。 支部・団体名

代 表 者	氏 名		電 話	—
	住 所			
ご 同 伴 者	氏 名		電 話	—
	住 所			
	氏 名		電 話	—
	住 所			

※FAXで申込みいただいた方は、ハガキでのご連絡は必要ありません。

事務連絡